

従業者向け

保育所等訪問支援評価表

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

○ 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制・環境整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	100%		個々に合わせた大きさなども意識し、親しみやすい手作りの教材を使用しています。また、定期的に新しい教材を作成し、種類を増やしている。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		国の配置基準を満たした職員配置が出来ている。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		朝・帰りの打ち合わせやスタッフ会議等で情報共有を図っている。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		年に1回、訪問支援を利用している保護者に対してアンケートを実施し、業務の改善に繋げている。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		事業所自己評価を実施し、業務の改善に繋げている。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		年に1回、第三者評価を実施している。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		適宜研修に参加する機会を設けている。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%		半年に1回アセスメントの見直しを実施。保護者からの聴き取りだけでなく、訪問先の様子なども確認しながら、課題の分析を行い個別支援計画を作成している。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		担当職員も交えながら、サポート会議、ケアカンファレンスを実施し、計画を作成している。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%		訪問開始前の事業説明時に話し合いの場を設けたり、各訪問後の振り返り等で連携し、担当者の考えや訪問先の環境等も踏まえて計画を作成している。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		ケアカンファレンスの会議録を職員間で回覧し共有し、計画に沿った支援を実施している。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		専用のアセスメントシートを使用し、行動面や認知面、社会性、運動面などの状況を詳細に確認している。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		ガイドラインを踏まえながら支援内容を設定している。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		ケアカンファレンスの会議録を職員間で共有し、計画に沿った支援を実施している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		朝・帰りの打ち合わせで実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		職員間で話し合いの機会を設け、情報共有を図りながら次の支援に繋げている。

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%		訪問支援の方法（直接支援、間接支援等）にいたっては、訪問先と検討した上で実施してる。
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		記録用として撮影した写真を添付し、支援状況等が分かりやすいように意識しながら記録を行っている。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		半年に1回実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		支援を担当している職員や児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		必要に応じて、連携会議を実施し、各機関と連携を図っている。また、電話等で支援の進捗状況等共有している
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		移行の際には、これまでの経過や支援の内容について情報共有を行い、相互理解を図るようにしている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%		外部の専門家より助言を受けたり、適宜研修に参加する機会を設けている。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%		事業所としては担当職員が参加している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		訪問後はサービス提供書の提示を行い、情報共有を行っている。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		年に1回、事業所内で保護者向けペアレントプログラムを実施している。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に丁寧に説明し、同意を頂いたうえで契約を締結している。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%		訪問開始前には必ず事業説明を行い、承諾を得てから訪問を開始している。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		半年に1回個別支援計画見直しのため面談を実施
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%		対面で計画の説明を行い、同意を得たうえでサインをしていただいている。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		必要に応じて実施している。また、訪問後のサービス提供書の提示の際に面談の時間を設けている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		事業所としては父母会（バンビの会）を支援している。また、家族支援として事業所内でお祭り（行事）を開催し、きょうだいや家族同士が交流できる機会を設けている。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		相談や申し入れがあった際には、面談の機会を設けるなど迅速に対応している。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		事業所としては、月1回のお便りの発行、ライン配信などを実施している。

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		情報の漏洩等がないように十分に留意しています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		絵カードや筆談など、その子に合わせた配慮を行っています。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%		訪問後に振り返りの時間を設け、相談に対応したり、情報共有を実施している。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%		訪問支援実施後には振り返りの時間等を設け、児童の情報共有を行い、課題に対する共通理解を図っています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%		面談や電話等でサービス提供書の提示を行っている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		情報の漏洩等がないように十分に留意している。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%		相談があった際には丁寧に応じるように心掛けている。また、信頼関係を築きながら訪問支援を実施している。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		事業所として実施している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		事業所として実施している。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		事業所として実施している。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		事業所として実施している。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		事業所として実施している。